

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 7 部門第 3 区分
 【発行日】平成 17 年 5 月 12 日 (2005.5.12)

【公開番号】特開 2002-319975 (P2002-319975A)
 【公開日】平成 14 年 10 月 31 日 (2002.10.31)
 【出願番号】特願 2001-126367 (P2001-126367)
 【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 L 12/58

G 0 6 F 13/00

【F I】

H 0 4 L 12/58 1 0 0 B

H 0 4 L 12/58 1 0 0 E

G 0 6 F 13/00 6 1 0 C

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 6 月 29 日 (2004.6.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

未開封限度時間と通知先の組み合わせを電子メール管理システムに複数設定しておき、前記電子メール管理システムは、受信した電子メールが未開封のまま設定された未開封限度時間が経過する度に当該未開封限度時間と組み合わせて設定された通知先に予め設定した通信手段によって未開封電子メールの存在を通知することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 2】

予め設定した第 1 の未開封限度時間を超えて未開封の電子メールが存在する時、予め設定した手段によって当該電子メールの受信者に対して未開封電子メールの存在を通知するステップと、

前記第 1 の未開封限度時間より長い予め設定した第 2 の未開封限度時間を超えて未開封の電子メールが存在する時、予め設定した手段によって当該電子メールの送信者に対して、送信した電子メールが未開封であることを通知するステップとを含むことを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 3】

請求項 1 又は 2 記載の電子メール管理方法において、前記第 1 及び第 2 の未開封限度時間及び / 又は通知先を受信者と送信者のメールアドレスの組み合わせに応じて設定することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 4】

請求項 1、2 又は 3 記載の電子メール管理方法において、前記第 1 及び第 2 の未開封限度時間及び / 又は通知先を電子メールのタイトルに含まれるキーワードに応じて設定することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 4 のいずれか 1 項記載の電子メール管理方法において、電子メールの受信者又は送信者に対して前記通知を行うことのできる時間帯あるいは未開封状態計算対象外とする時間帯に関する情報を設定することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 6】

送信元メールアドレスと受信メールアドレスと未開封限度時間の組み合わせを未開封通知条件マスタに設定するステップと、

前記未開封通知条件マスタに設定された送信元メールアドレスから受信メールアドレスに送信された電子メールが前記未開封限度時間を超えて未開封の時、予め設定した手段によって当該電子メールの送信者に対して、送信した電子メールが未開封であることを通知するステップとを含み、

電子メールの送信元は、前記未開封通知条件マスタに設定された送信元メールアドレスを指定することによって当該送信元に対して通知すべく設定された前記未開封限度時間の情報を参照可能であることを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 7】

請求項 6 記載の電子メール管理方法において、前記未開封通知条件マスタに設定されたレコードが追加、変更又は削除されたとき、対応する送信元の承認を条件として前記変更内容を有効とすることを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 8】

請求項 7 記載の電子メール管理方法において、未開封通知条件マスタに設定されたレコードが追加、変更又は削除されたとき、その旨を対応する送信元に対し自動的に通知することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 9】

請求項 7 記載の電子メール管理方法において、未開封通知条件マスタに設定されたレコードが追加、変更又は削除されたとき、当該情報が掲載されたインターネット上の URL と、情報の参照・承認を可能とするためのパスワードを送信元に対し通知することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 10】

請求項 6 ～ 9 のいずれか 1 項記載の電子メール管理方法において、前記未開封通知条件マスタへの設定件数に応じて利用者に対し課金することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 11】

請求項 1 ～ 10 記載の電子メール管理方法において、受信者毎に未開封通知管理対象である受信メールの件数とそのうちメール送信元に対して未開封通知を行った受信メールの件数を保持し、これらの情報を元に作成した受信者のメール管理情報を提供することを特徴とする電子メール管理方法。

【請求項 12】

請求項 1 ～ 11 に記載した電子メール管理方法をコンピュータ上で実現させるためのプログラム。

【請求項 13】

未開封電子メールを管理する電子メール管理システムにおいて、

電子メール送受信部と、未開封通知条件マスタと、通知指示部とを備え、

前記未開封通知条件マスタには、電子メール受信者のメールアドレスと電子メール送信元のメールアドレスとの組み合わせに応じて未開封限度時間と未開封情報の通知先及び通知方式が複数設定されており、

前記未開封通知条件マスタに設定された未開封限度時間を過ぎても未開封の電子メールが存在するとき、前記通知指示部は前記未開封通知条件マスタに設定された通知先に設定された通知方式により未開封情報を通知することを特徴とする電子メール管理システム。